

# 町教育委員会と道立高校の連携「浦河高校連携講座」

## 経緯・概要

北海道浦河高等学校開放講座は、地域社会と学校の連携・協力を深め、「開かれた学校」づくりを一層推進することを目的に平成8年から開催されている。以来、「生涯学習の機会を広く町民に提供する」場として、また、地域の教育資源を町民に還元する場として、続けられてきた。令和2年度から、コロナ禍の影響もあり、会場を高校から総合文化会館へ移し「浦河高校連携講座」として実施している。



## 工夫点・ポイント

地域の連帯感を高め、活力あるふるさとづくりを進めるための学習機会として、北海道浦河高等学校教職員による多彩な講座を実施している。講座内容は先生方が得意とする教科の専門領域の他、趣味や特技をいかした講座など多岐にわたる。

また、高校生が企画・運営し小・中学生を対象にした「ハロウィンパーティー」や「サイエンスラボ」を行っている。

## 実施体制



## 取組の成果

- 参加者も小学生から80代の方までと幅があり、世代を超えた生涯学習、交流の場となっている。
- 長きにわたり、充実した講座を続けるため、浦河高校と町教育委員会社会教育課との連携ができています。
- 学校開放講座を母体として誕生したサークルが、地域に根ざした活動を続けている。

